

# みんなの健康ラジオ

『痔かな？お尻が何か変だ(I)』

(2025年9月25日放送)

横浜外科医会

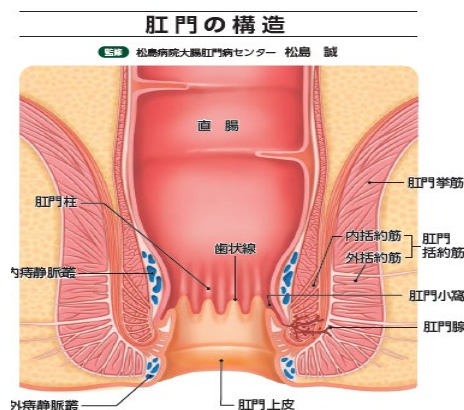
医療法人恵仁会 松島病院

松島 誠

痔とは、肛門の周囲に起こる良性疾患の総称でその代表的なものが、いぼ痔（内・外痔核）、切れ痔（裂肛）、あなじ（痔瘻）です。多くの患者さんは、肛門やその周囲の痛みや出血、または腫れ・違和感等の症状に突然気づき病院を訪れます。なかには恥ずかしいから！どうせ痔だから？と、診察を受けずに悪化させる方も少なくありません。痔を正しく理解して、重大な疾患を見逃さず、快適な毎日を送りましょう。

痔の診療で大切な事柄は、「正確な診断に基づいた最善の治療を行うこと、痔や排便に関する正しい知識や認識を伝え再発を予防して快適な生活を続けられるようにする」と私たちは考えています。

日本人の肛門の平均的な長さは男性で3.2cm、女性で2.9cmくらいです。この肛門の閉まる部分とその奥の4～5cmくらいの直腸下部に、痔は発生します。



その割合は痔核が60%、裂肛15%、痔瘻は10%です。

(1) 痔核は、便秘や下痢または日常的に誤った排便習慣などにより、肛門の正常な構造が変化したものです。その症状は、排便時に肛門の中から脱出する内痔核や、肛門の外にできた外痔核からの出血や痛みなどの症状で気づきます。肛門に負担のかからない正しい排便を心がけることで、予防または症状を軽減することができます。

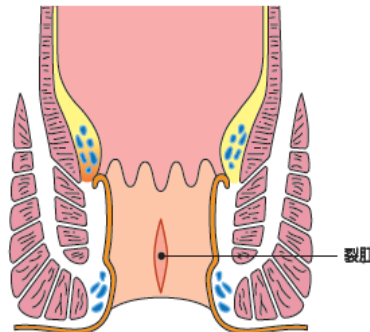
内痔核



(2) 裂肛は切れ痔ともいわれ、肛門の外傷・ケガ  
ということができます。

その原因は硬い便の排出や、繰り返す下痢などによって、肛門の内側の皮膚に浅い裂傷ができたものです。出血は少量であることが多いのですが、強い痛みを生じることがあります。この病気も排便を整えることで、治療や予防ができます。しかし繰り返すうちに肛門が狭くなる肛門狭窄や、付随する病変ができたときは手術の適応となります。

裂肛



“痔核・裂肛のどちらの病気も再発しないように  
完全に治療することができます”

他の疾患と同様に、悪化しないうちに治療する  
ことが重要です。

次回は痔瘻についてお話しいたします。